



全自動バッテリーチャージャー AFC30-II

取扱説明書

故障の原因となります！下記必ずご確認ください。

取扱注意!

- ① 充電を終了したいときは、電源コードをコンセントから抜いた後、充電器とバッテリーの接続を外してください。
- ② バッテリーを放電しながら充電しないでください。充電は全ての負荷を外した上で行ってください。
- ③ 本機を電源として使用しないでください。
- ④ 本機を車両や設備、その他何らかの機器に搭載されたバッテリーに接続したままの状態では運用しないでください。
- ⑤ 入力電源は必ず電力会社供給の商用電源のコンセントをご使用いただき、発電機・その他は使用しないでください。

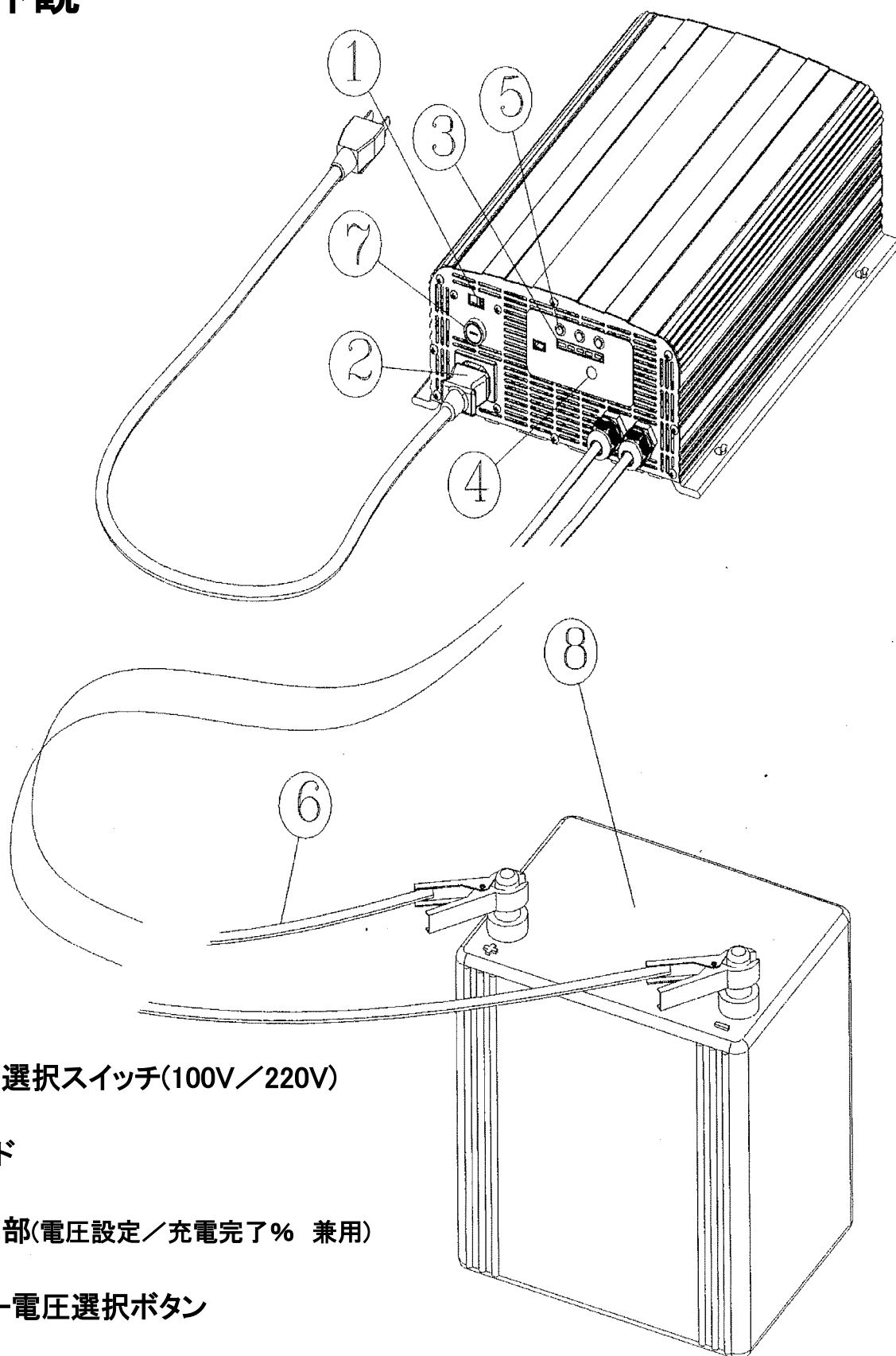


！！使用上の注意！！

★ご使用時の安全確保や、本機・バッテリーの故障・破損を防ぐ為、ご使用頂く際には、必ず下記を遵守願います。

- 本機はバッテリー充電器ですのでバッテリー以外への接続はしないで下さい。
- この充電器は、鉛バッテリー専用です。その他のバッテリーの充電には使用しないで下さい。
- 本機で充電可能なバッテリーは、容量 30AH (1時間率)以上となります。容量 30AH 以下のバッテリーは充電しないで下さい。
- 本機は鉛バッテリー専用で出来る限り様々なタイプの鉛バッテリーに適合する様、汎用性の高い充電特性をとっておりますが、現存する鉛バッテリーには非常に多くのタイプがあり、中には特殊な充電特性を必要とするバッテリーもございます。適合しないバッテリーを充電しますと 本機の故障、バッテリーの破損や、その他の何らかの異常をきたす場合がございます。運用頂く前にバッテリーとの適合を十分ご確認願います。(本機では ジェル化電解液型バッテリー、及び AGM(吸着ガラスマット)型バッテリーは充電できません。)
- 過剰に消耗したバッテリーや内部破損など何らかの異常が有るバッテリーを充電すると、本機の故障やバッテリーの破損、その他 何らかの異常をきたす場合があります。
- 直列接続のバッテリー充電は、①バッテリーが同一品番で②新品時から直列接続され③全く同じ使用状況であった事が前提となります。又、並列接続の場合は①～③の条件が満たされていても充電が不完全だったり、できなかつたりする場合があります。
- 本機を何らかの機器や設備、その他 などに組み込んで使用しないで下さい。
- 充電中 及び 充電停止中も含め、本機を車両や設備、又はその他の何らかの機器に搭載されたバッテリーに接続したままの状態では運用しないで下さい。
 - ！ 車両や設備、又はその他の何らかの機器からの影響で本機が故障する可能性があります。
 - ！ 本機からの影響で車両や設備、又はその他の何らかの機器側に故障が発生する可能性があります。
- バッテリーを放電しながら充電しないで下さい。充電はバッテリーから全ての負荷を外した上で行って下さい。
- 本取説4ページ、”(2)ご使用手順 手順1”の設定が、必ずご使用の入力電圧に適合した、スイッチ設定 (AC100V 又は AC200V)となっている事を確認してから充電を開始して下さい。
- 入力電源は必ず電力会社供給の商用電源のコンセントを使用頂き、発電機・その他は絶対に使用しないで下さい。
- 電源(AC入力)コードは延長せず、必ずコンセントに直接接続として下さい。延長は絶対にしないで下さい。
- 本機は充電前に対象バッテリーに応じて充電電圧を指定し充電を行う為、極端に消耗したバッテリーは充電できない場合があります。
- バッテリー自体が劣化・老朽化・その他 何らかの正常でない状態にあると、充電ができない場合があります。
- 本取説4ページ、”(2)ご使用手順 手順4”で、バッテリーに接続した際、赤LEDが点滅した場合は、同手順3で正しい電圧が選択されていない可能性があります。その場合はバッテリーを外した後、コンセントを差し直し、再度 正しく電圧選択を行って下さい。
- DC出力側赤黒ケーブルを延長する場合は、8sq以上のケーブルを使用頂き、既設ケーブルにプラス2m以内として下さい。又、ケーブル同士の接続は、付属のワニ口クリップを外し、適切な端子を取り付けた上で、接続部が緩んだり、接触不良が発生しない様にしっかりと結線して下さい。更に結合部には必ず確実な絶縁を行って下さい。
- 本取説4ページ 赤色ランプに関する記述中の点滅2回は、手順2・3の際 経過時間によっては、発生する場合も有りますが、手順4～6が適切に行われ、正常に充電が開始されれば問題ありません。

(1)構造外観



① 入力電圧選択スイッチ(100V／220V)

② 電源コード

③ LED 表示部(電圧設定／充電完了% 兼用)

④ バッテリー電圧選択ボタン

⑤ 充電状態状態表示ランプ

⑥ DC出力コード

⑦ 入力ヒューズ

⑧ バッテリー

(2)ご使用手順

- 手順1：充電器の切り替えスイッチ(①)を該当する入力電圧に切り替えて下さい。
- 手順2：バッテリーに接続されていないことを確認してから、電源コード(②)をコンセントに差し込んで下さい。
- 手順3：LED表示部(③)を見ながらバッテリー電圧選択ボタン(④)を押し、バッテリー電圧を選択して下さい。
- LED点灯数1…12V充電→LED点灯数2…24V充電→LED点灯数3…36V充電→LED点灯数4…48V充電
- 手順4：電源コード(②)をコンセントから外して下さい。
- 手順5：充電するバッテリーの電圧が手順3で指定した電圧と適合していることもう一度確認後、
　　<1>充電器のプラス(+・赤色)ケーブル → バッテリーの+端子
　　<2>充電器のマイナス(-・黒色)ケーブル → バッテリーの-端子
　　の順で接続して下さい。 ！！逆接には十分注意して下さい。
- 手順6：充電器とバッテリーの接続が正しい事を再度確認後、電源コード(②)をもう一度コンセントへ接続して下さい。正常に充電が開始されると、バッテリーの状態により、充電状態表示ランプ(⑤)に下記のいずれかが表示されます。(緑点滅(フル充電)移行後はそのまま常時接続が可能です。)

点灯ランプ	点灯状態	内 容
黄色	点灯	ソフトスタートの状態です。
	点滅	充電状態です、充電が進むにつれて、点滅が早くなります。
緑色	点滅	バッテリーは満充電となっています。このまま満充電を維持します。

本機に異常が発生した場合、充電状態表示ランプ(⑤)に、下記のいずれかが表示されます。

点灯ランプ	点灯状態	内 容	対 策
赤色	点滅2回	充電器が正常にバッテリーへ接続されていません。	充電器とバッテリーの接続を再度確認して下さい。接続の全てが適切で問題が無い場合は、お買い上げの販売店にご相談下さい。
	点滅3回	バッテリーの電圧が高過ぎ、又は低過ぎます。	バッテリーの電圧選択が正しいか確認して下さい。
	点滅4回	内部温度センサーのショート、又は 回路が断絶しています。	温度センサー等の異常です。お買い上げの販売店にご相談下さい。
	点滅5回	内部温度上昇で、保護が作動しています。	内部温度が下がれば、充電器は自動復帰します。
	点滅6回	上記以外の何らかの原因で、充電が正常に行えない状態です。	ご使用環境・バッテリー・配線 等を確認して下さい。全てが適切で問題が無い場合は、本機が故障している可能性があります、お買い上げの販売店にご相談下さい。

★充電中に電圧選択ボタンに触れてしまった場合でも、電圧の設定には影響せず問題ありません。

★フロートの緑ランプが点滅したときは、バッテリーは満充電となっています。

充電を終了するか、満充電を維持する為、そのまま充電を続けるか選択可能です。

★充電を終了したいときは、電源コードをコンセントから抜いた後、充電器とバッテリーの接続を外して下さい。

★充電時間の目安

60AH ... 約2時間前後

120AH ... 約4時間前後

180AH ... 約6時間前後

※左記はあくまで目安です、
充電時間はバッテリーの
状態によって変化します。
又、バッテリーの容量(AH)は
1 時間率での値となっています。

(3)その他 ご使用上の注意

1. この充電器はバッテリーの充電専用設計されています。パワーサプライとして使用することは出来ません。
2. 使用できるバッテリー範囲は、普通車・大型車・産業機械用の一般的なバッテリー(※1)の他、密閉式バッテリー(※2)にも使用できます。 ※1 鉛開放型のスターターバッテリー ※2 バッテリータイプによっては充電できないものもあります。
3. 電圧の異なるバッテリーへの接続はしないで下さい。
4. 直射日光が当たる場所、湿度が過度に高い場所、その他、適切でない環境での使用はしないで下さい。
5. バッテリー容量から想定した十分な時間充電を行っても、LED表示部(③)の充電完了%が低かったり、充電状態表示ランプ(⑤)が緑色に変わらない場合は、バッテリーが壊れている可能性があります。危険ですので直ちに充電を中止して下さい。
6. 本機はアルミボディによる放熱構造となっています。ボディ部分は充電中温度が高くなる場合がある為、充電中はボディに触れないようにして下さい。



///設置について///

- 通気の為、本機の回りに適度な空間を空け、風通しの良い場所に設置して下さい。
- 直射日光の当たるところや、熱源の近く等、温度の上がりやすい場所には設置しないで下さい。
- 水・水滴、及び 水蒸気などの霧状のものも含め、あらゆる液体の影響を受ける場所や、湿気が多い場所には設置しないで下さい。
- 潮風が当たる場所・海水の近く等、塩害が発生しやすい場所、及び化学物質の影響を受けやすい場所には設置しないで下さい。
- 振動の多い場所には設置しないで下さい。
- 急制動・災害・その他の際に、本機が人体に危害を及ぼさない様、安全な場所に適切な固定方法で設置して下さい。
- 埃・砂塵等が多い場所には設置しないで下さい。
- バッテリーから発生するガスなど、あらゆるガスが溜まる場所には設置しないで下さい。
- 子供の手の届かない所に設置して下さい。
- 設置する際には、入力側・出力側共に、本機から全ての接続・配線が外されていることを、必ず確認して下さい。

///保管について///

- 本機を保管する場合には、上記の ///設置について/// と同じ環境・状態で保管して下さい。

///使用について///

- 本機への入力全てにおいて、仕様で規定された以外のものを使用したり、接続したりしないで下さい。
- 本機からの出力全てにおいて、仕様で規定された以外のものを使用したり、接続したりしないで下さい。
- 通電中は本機に触らないで下さい。放熱の為、本機が熱くなっている場合があります。(本機の外観ケースは、効率的な作動の為、放熱の役割をはたしています。)
- 上にものを載せたり、乗ったりしないで下さい。
- 衝撃を与えたり落としたりしないで下さい。
- ガソリン・灯油・シンナー等、可燃性のものや、燃えやすいものを近づけないで下さい。
- 本機の内部に針・ヘアピン・鉄粉など、金属を入れないようにして下さい。
- ケーブル・コードを無理に曲げたり、束ねたり、加工しないで下さい。又、キズを付けたり、破損させないで下さい。
- 入力、及び 出力のケーブル・コードは、適切な長さ・太さのものを使用し、長過ぎる、又は 細過ぎるものは使用しないで下さい。
- 入力、及び 出力のケーブル・コードを延長しないで下さい。電圧の降下やその他の異常が発生し、正常に作動しない場合があります。
- 無人での使用はしないで下さい。

///その他///

- 分解や修理・改造は絶対に行わないで下さい。(分解・修理・改造された製品は、保証対象外となりますので、御了承下さい。)
- お手入れの際は、必ず本機への接続を入力・出力共に全て外してから行って下さい。又、本機の掃除はシンナー等の有機溶剤や洗剤は使用せず、乾いた布を使用下さい。
- 本機が破損・故障した場合は、すぐに接続された配線を全て外し、販売店にお持ち下さい。
- 本機を誤った方法や、用途以外で使用された場合に発生した故障・事故 等には、一切の責任を負いかねます。

仕様

入 力 電 圧	115V／220V切替え(単相交流)＜入力可能電圧範囲 AC90～130V／AC200～220V＞			
入 力 周 波 数	50／60Hz			
無 負 荷 電 流 値	< 0. 1A			
最 大 入 力 電 流	< 15A			
出 力 電 圧	12V	24V	36V	48V
最 大 出 力 電 流	30A	30A	25A	15A
保 護 機 能	短絡保護			
	逆接続保護			
	温度保護			
最大フロート充電時間	無制限			
使用可能温度範囲	最大出力時 ： -20～50℃			
使 用 可 能 湿 度	最大95%まで結露無し			
冷 却 方 式	内部温度に応じてファンが自動調整			
寸 法	300mm×223mm×101mm			
重 量	4. 5kg			

＊信頼ある技術で安心設計＊



(株)アーガス

〒420-0935

静岡県静岡市葵区池ヶ谷東 14-50

TEL 054-248-2080

FAX 054-248-2082

HP <http://www.argus-shizuoka.co.jp>

E-mail info@argus-shizuoka.co.jp